

2010年 第10回 医療法人恒生堂永田整形外科病院
治験審査委員会 会議の記録の概要

【開催日時】2010年 11月2日(火曜日) 13:05~13:50

【開催場所】医療法人恒生堂永田整形外科病院 2階会議室

【住所】福岡県大牟田市原山町1-1

【出席者】出席者数 6名/(8名)

氏名	職業資格及び所属	出欠	備考
永田 見生	整形外科医師 / 久留米大学医学部長(整形外科主任教授)	出席	委員長
吉岡 仙弥	医師 / 医療法人吉岡クリニック 理事長	出席	副委員長
原賀 稔	内科医師	出席	
堀 由紀子	薬剤師 / 薬剤室室長	欠席	
森本 絹枝	看護師/看護部長	出席	
永田 榮子	理事	欠席	
出田 一夫	事務局長	出席	
下瀬 和枝	看護師 / 大牟田医師会看護専門学校 副校長	出席	

1. 報告事項（迅速審査の報告）

なし

2. 審議事項

議 題	味の素製薬株式会社の依頼による骨粗鬆症患者を対象とする NE-58095 の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：5 施設 治験薬概要書の変更：5 施設 重篤な有害事象に関する報告：1 施設	
審 議 内 容	個別報告共通ラインリスト及び研究報告、措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験薬概要書の改訂に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、出席委員全員一致で、承認された。

議 題	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による JNS024 の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：2 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する個別報告共通ラインリスト・副作用症例票及び定期報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、出席委員全員一致で、承認された。

議 題	アステラス製薬株式会社の依頼による急性疼痛患者を対象とする YM177 の第相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：2 施設	
審 議 内 容	個別報告共通ラインリストに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、出席委員全員一致で、承認された。

議 題	アボット ジャパン株式会社の依頼による日本人関節リウマチ患者を対象としたアダリムマブ（D2E7）の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：1 施設	
審 議 内 容	個別報告共通ラインリスト・副作用等の症例一覧・研究報告・副作用症例票（国内）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、出席委員全員一致で、承認された。

議 題	中外製薬株式会社および大正製薬株式会社の依頼による骨粗鬆症を対象とした Ro200-5450 の第 / 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：7 施設 治験実施計画書の変更：7 施設 重篤な有害事象に関する報告：2 施設 継続審査：4 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する新規安全性情報及び研究・措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験実施計画改訂書に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 前回の継続審査より治験期間が1年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、出席委員全員一致で、承認された。

議 題	第一三共株式会社の依頼による骨粗鬆症患者を対象とした AMG 162 (denosumab) の第 相試験	
審 議 事 項	安全性に関する報告：6 施設 重篤な有害事象に関する報告：1 施設	
審 議 内 容	当該治験薬に関する治験薬副作用症例報告書(国内・外国)及び定期報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	
結 果	承認	当該審議について、出席委員全員一致で、承認された。

3. 終了報告

なし

4. 報告事項

以下の治験が製造販売承認取得されたことが報告された。

- ・武田薬品工業株式会社の依頼による非ステロイド性抗炎症薬長期投与時の胃潰瘍・十二指腸潰瘍の発症に対する AG-1749 の予防効果試験
- ・武田薬品工業株式会社の依頼による非ステロイド性抗炎症薬長期投与患者を対象とした AG-1749 の長期併用継続試験